

J Aバンク千葉における地域密着型金融の取組状況（2020年度）

J Aバンク千葉（千葉県内 J Aと農林中央金庫千葉支店）では、農業と地域社会に貢献するため、2019～2021年度 J Aバンク千葉中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

2020年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援の一層の強化

J Aバンク千葉は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク千葉は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

2021年3月末時点の J Aバンク千葉の農業関係資金^{（注1）}残高は 27,065 百万円（うち農業経営体向け貸付金 25,296 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は 5,906 百万円を取り扱っています。

（注）1 農業関係資金とは、農業経営体および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

2 受託貸付金は、J Aバンク千葉が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の取扱を受託している資金が該当します。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	2021年3月末現在
農業 ^{（注3）}	25,296
穀作	4,694
野菜・園芸	9,701
果樹・樹園農業	1,002
工芸作物	54
養豚・肉牛・酪農	2,539
養鶏・鶏卵	588
養蚕	—
その他農業 ^{（注4）}	6,718
農業関連団体等 ^{（注5）}	1,770
合計	27,065

（注）

3 表示単位未満四捨五入のため、積み上げが一致しません。

4 その他農業には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。

5 農業関連団体等には、J A等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	2021年3月末現在
プロパー農業資金 (注1)	17,220
農業制度資金 (注2)	9,845
農業近代化資金	8,561
その他制度資金 (注3)	1,284
合 計 (注4)	27,065

(注)

- 1 プロパー農業資金とは、J Aバンク原資の資金を融資しているものをいいます。
- 2 農業制度資金とは、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJ Aバンク千葉が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJ Aバンク千葉が低利で融資するものを対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。
- 4 表示単位未満四捨五入のため、積み上げが一致しません。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

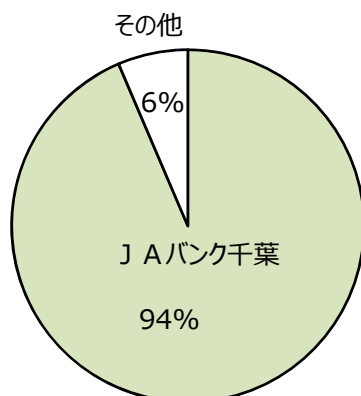
種 類	2021年3月末現在
日本政策金融公庫資金	5,906
そ の 他	—
合 計	5,906

(注) J Aバンク千葉では、主にJ Aを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

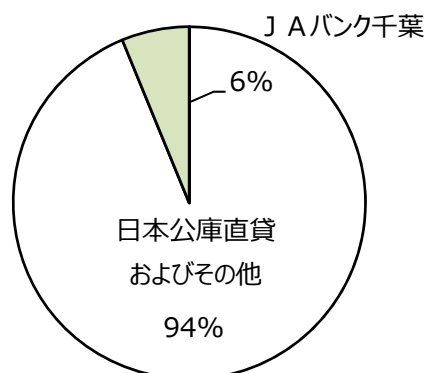
J Aバンク千葉は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金取扱いにおいて、融資残高シェアが94%となっています。

【千葉県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱いシェア】

農業近代化資金 融資残高シェア
(2020年12月末時点)



日本政策金融公庫 農業資金取扱いシェア
(2021年3月末時点)



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

J Aバンク千葉では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、2020年度末時点で17 J A・72名配置しています。

J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は2020年度末時点で県内に266名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

農林中央金庫千葉支店では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

これらのほか、J Aグループ千葉では、千葉県、(公社)千葉県園芸協会、(一社)千葉県農業会議と一体となって「農業者総合支援センター」を構築しており、担い手に対して、オール千葉による総合的なサポートをワンフロア・ワンストップで行っております。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しています。

(4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

J Aバンク千葉は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

J Aバンク千葉では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

単位 件、百万円

	2020年度 実行件数	2020年度 実行金額	2021年3月末 残高
青年等就農資金	33	282	713
就農支援資金	－	－	76
J A新規就農応援資金	1	2	14
その他	－	－	－
合計	34	284	802

(2) 生産者と消費者をつなげる場の設定

各J Aや連合会（J A千葉中央会・J A全農ちば・J A共済連千葉）と協働し、J Aグループ千葉として、新型コロナウイルスにより影響を受ける生産者等を支援することを目的とし、「コロナに負けるな！地元農産物応援キャンペーン」を実施いたしました（2021年2月実施）。

感染予防対策を徹底したうえで、県内のJ A直売所で一定金額を購入いただいたお客さまに、朝採れ野菜やエコバックなどのプレゼントを行い、地産地消の促進に取り組みました。来店いただいたお客さまからは、地元農産物を応援する企画として、好評を博しました。

(3) 災害等により被害を受けた方等への支援

J Aバンク千葉では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた農業者や令和元年台風により被災した農業者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件、百万円

取組事例	J A 名	内 容	件数	貸付実行金額
2019 年台風 15、19 号および 21 号対策資金の対応	県内 J A	台風により農業施設や農畜産物に被害を受けた組合員を対象に、農林中央金庫および行政の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。	772	4,042
新型コロナウイルス感染症における対策資金の対応	県内 JA	新型コロナウイルス感染症の影響により運転資金が必要となった組合員に対し、JA バンク利子補給および保証料助成を受けた低利の資金を対応しました。	28	357

(4) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク千葉では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【2020 年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

単位：先

		期初経営改善支援取組先 A	A のうち再生計画を策定した先数 a	A のうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	A のうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先①		0	0	—	0	0%	—
要注意先	うち その他要注意先②	0	0	0	0	0%	0%
	うち 要管理先③	1	1	0	1	100%	0%
破綻懸念先④		1	0	0	1	0%	0%
実質破綻先⑤		0	0	0	0	0%	0%
破綻先⑥		0	0	0	0	0%	0%
小計 (②～⑥の計)		2	1	0	2	50%	0%
合計		2	1	0	2	50%	0%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は 2020 年 3 月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク千葉では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 資本供与の取組み（ファンドの活用）

J Aバンク千葉では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

(2) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク千葉では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【2020年度 負債整理資金の貸出実績】 単位 件、百万円

資金名	2020年度 実行件数	2020年度 実行金額	2021年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	44
畜産特別資金	0	0	100
その他	3	13	58
合計	3	13	202

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けのために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク千葉では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 食・農への理解促進

J Aバンク千葉は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、2020年度は県下の小学校 799校へ 67,823冊配布され、学校の授業等において活用されています。

以上